

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【310】
2. 日時：令和4年11月9日 13時30分～15時50分
3. 場所：原子力規制庁 8階北会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

藤原技術研究調査官、堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他6名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（取水槽ガントリクレーンの耐震性についての計算書等）について、令和4年11月2日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【取水槽ガントリクレーンの耐震性について】

- 取水槽ガントリクレーンのホイスト及び転倒防止装置の改造内容について、詳細に説明すること。
- 単軸粘性ダンパの解析モデル、特性試験の方法、減衰性能のばらつき
の考慮、地震応答解析手法及び地震動の選定方針等の耐震評価方法全般について、配管系に設置する三軸粘性ダンパ及び排気筒に設置する
単軸粘性ダンパと比較して説明すること。
- 加振振動数を変更した単軸粘性ダンパの特性試験の試験条件について、
加振速度ごとに設定振動数を変更していることを含め振動数設定の考
え方を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した
旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし